

報告事項1 令和5年度 事業計画
(令和5年4月1日より令和6年3月31日まで)

1. 郷土芸能に関する発表会の開催

(1) 創立50周年記念大会の開催

法人創立50周年を記念して、全国各地で伝えられてきた当協会団体会員の様々な特色ある郷土芸能を公開することによって、郷土芸能への理解を深めその保存振興及び地域文化の発展を図ることを目的として開催する。

<概要>

○期日:令和5年9月2日(土)、3日(日)

○会場:明治神宮会館(明治神宮境内)

(2) 「全国地芝居サミット」

令和6年度全国地芝居サミット開催に向けて、保存団体、自治体等と調整を行う。

2. 指導者、保存団体の育成

(1) 伝統文化継承フォーラムの開催

地域の郷土芸能の指導者及び保存団体が次世代へ繋げていく方策を探るフォーラムを発表会開催との連携を取りながら進める。

(2) 郷土芸能振興支援プロジェクト

継承が困難な団体等の振興に向けての活動を支援する。

3. 情報の収集及び提供

(1) 会報発行

会員及び関係機関等から全国各地の郷土芸能の情報を収集し、会報に掲載して広く一般に広報する。年4回の発行。発行部数1回1,100部。

(2) 情報の収集及び提供

会員、民俗芸能関係者及び関係団体等から全国各地の郷土芸能の情報を収集し、直近の情報をメールマガジン、SNS上等で掲載して広く一般に情報提供する。

(3) 映像の収集と活用

「郷土芸能ストリーム～すごい民族誌映画がみたい!～」

郷土芸能に関係する映像の上映と座談会のインターネット配信を行う。映像に関係する多彩なゲストを迎え、幅広い分野の層が郷土芸能に接する機会を創出し、芸能を支援する層の増進を図る。

開催期日:会報発行に合わせて年4回程度、不定期開催

4. 国際交流事業

国や自治体や公共関係諸機関との調整調査を行い、郷土芸能の国際交流事業

の開催に向けて準備を行う。

5. 顕彰

全郷芸入会5年と10年の継続会員に対して感謝状を贈る。また、会員の中から長年に亘り郷土芸能の振興発展に寄与した個人の活動に対して功労賞を贈る。

6. 調査研究

「まつり研究会」の開催

まつり研究会を開催する。開催地域、対象「まつり」、開催日等については今後検討していく。参加募集は会報やインターネット等を活用して行う。

7. 郷土芸能の振興・発展

「郷土芸能探訪」

ジアース教育新社発行の「文部科学教育通信」に全国の郷土芸能を紹介する「郷土芸能探訪」を連載していく。(月2回発行)